

戯曲の棲む家

図書館や劇場から抜け出した戯曲の生活、その上演。

vol. 8

ゲッコーパレード
本拠地公演

マクベス Macbeth

2018.8.17 Fri.- 26. Sun.
於・旧加藤家住宅

代表からのごあいさつ

みなさま、本日は旧加藤家住宅にお越しいただき、ありがとうございます。この本拠地である一軒家で我々ゲッコーパレードが行うシリーズ「戯曲の棲む家」の8作目の上演です。

この上演の原作となった『マクベス』は、演劇に親しむ人ならば知らない者はないというほど有名な戯曲です。作者シェイクスピアの知名度もさることながら、三人の魔女にはじまり予言・凶兆・恐妻・王殺し・戦争・暗殺・幽霊・幻影・没落など、キャッチーでダークな要素の多さがその人気の秘密です。ところでこれらは主人公マクベスにとっては勿論、作り手にとっても危険な諸要素です。強い魅力を放つあまり、自分が取り組むべき本質を見失うのです。喻えるならば「三億円事件」。あまりに強烈な現場証拠の数々に警察は惑わされ、とうとう犯人が捕まることがありませんでした。

大抵の(優れた)作品には、表面的な要素や表現の奥に眠った、本質のようなもの／それが真に描こうとするものがあると考えています。しかし、この『マクベス』では本質を見つけようとするほど、遠ざかるように思えました。そこでむしろ、この表面的な要素、外骨格こそが作品の実態なのではないかと考えました。本丸ではなく外堀こそが、我々の攻めたかった城の本質だったのです。「きれいはいきたくない、きたないはきれい」という劇中の登場する「一見真逆のものが同じ」という命題が、実は作品自体の特徴を物語っていたのです。

彼を取り巻いた環境に身を置きさえすれば、誰でもマクベスになります。マクベスになるのに、特別な能力や特性は必要ありません。まるで観光地にある「顔はめパネル」に顔を入れるように。重要なのはあなたがだれかではなく、パネルに描かれたそれ以外の情報なのです。

だから、我々は『マクベス』の外側の要素を提示することに終始しました。4人のアーティストとの関わりについては、ぜひ最初に駅でお配りした用紙をご覧ください。

P.S. 上演に登場した「俺はマクベスだ」と名乗る彼を、我々は「マクベスマン」と呼んでいます。彼はマスコットキャラクターのようなものだと考えています。決して本質的な存在ではないかもしれませんが、彼がいてくれて助かりました。みなさんもそう思いませんか？

ゲッコーパレード代表 黒田瑞仁

原作=W. シェイクスピア

訳=松岡和子

演出=黒田瑞仁

出演=河原舞 崎田ゆかり 山本瑛子 上池健太

参加アーティスト=Aokid ikuko shirakuma カゲヤマ気象台 渡辺瑞帆(青年団)

衣装=YUMIKA MORI

記録映像=絵空衣音

チラシデザイン=内田圭

主催・企画・制作=ゲッコーパレード

後援=蕨市、蕨市教育委員会





アーティストプロフィール

Aokid (2階のインスタレーション) インスタレーション販売中!
ダンス作品の創作を行うが、ダンスから派生した多様なイベントを展開している。これまでにAokid Cityシリーズやどうぶつえんシリーズなど、架空の街を作るをコンセプトにしたイベントや野外で色んなアーティストが集まって発表を重ねるイベントを行う。

また日頃よりドローイングなどの制作を続け時おり、展示などでの発表をしたりしている。

現在はTalikingKidsHi5というチームプレイによる9月の発表に向けて集団制作中。
<http://ninjaaokid16.wixsite.com/aokid>

※この公演で展示している作品『マクベスによせて〜マクダフ夫人、その息子編〜』のドローイング・イラストレーション一式をセットで販売しております。ご興味のある方はスタッフまでお声がけください。

ikuko shirakuma (言葉のワークショップ/読み上げられた詩)
2008年よりNPOなどでWSプランナー、また映像作家として国内外で作品を発表している。2013年よりドイツの映像制作チームmasterclassfilmに参加。
<https://www.masterclassfilm.de>

カゲヤマ气象台 (ラストシーン)
1988年静岡県浜松市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。東京と浜松の二都市を拠点として活動する。2008年に演劇プロジェクト「sons wo:」を設立。劇作・演出・音響デザインを手がける。2018年より「円盤に乗る派」に改名。2015年度よりセゾン文化財団ジュニア・フェローに選出。近作に『流刑地エウロパ』(2018)、『シティⅢ』(2017、第17回AAF戯曲賞大賞受賞)など。

渡辺瑞帆 (蕨駅から旧加藤家住宅までの移動/地図)
セノグラファー / 青年団
早稲田大学理工学術院建築学専攻修了、2016年度同大学嘱託研究員。2016-18年フジワラテッペイアーキテクトラボ所属。建築やアートの設計等に携わりながら、舞台空間のデザインをしている。2014-15年 贅沢貧乏、2015-17年 無隣館2期を経て2017年より青年団演出部。

今後の予定

-Aokid-
篠田千明との共同作品“Tiger tiger” in BANGKOK BIENNIAL
8月25日(土) -26日(日)

やりなげアートブックフェア
8月24日(金) -26日(日) @東京造形大学原宿サテライト (東京都渋谷区神宮前2-32-5 BPRスクエア神宮前6階)

TalkingKidsHi5“Baby Baby.This Unbelievable Love!”
9月14日(金) -16日(日) @The CAVE

ダンス体鑑!(ダンスショーケース参加)
10月27日(土) -28日(日) @KAAT

南村千里新作『光の音:影の音』出演
12月8日(土) -10日(月) @あうるすぽっと

これは演劇ではない 2019年1月@こまばアゴラ劇場

-カゲヤマ气象台-
第17回AAF戯曲賞受賞記念公演『シティⅢ』 作 カゲヤマ气象台 / 演出 振子びじん
10月26日(金) -28日(日) @愛知県芸術劇場小ホール

KAC Performing Arts Program 2018/ Contemporary Dance『シティⅠ・Ⅱ・Ⅲ』
戯曲 カゲヤマ气象台
2019年1月25日(金) -27日(日) @京都芸術センター

フェスティバル「これは演劇ではない」参加作品『幸福な島の誕生』
作・演出 カゲヤマ气象台
2019年1月@こまばアゴラ劇場

-渡辺瑞帆-
愛知祝祭管弦楽団 ワーグナー『ジークフリート』
9月2日(日) 15:00@御園座

以下フジワラボにて担当
『BENTO おべんとう展一食べる・集う・つながるデザイン』会場構成
7月21日(土) -10月8日(月・祝) @東京都美術館

『関野吉晴ワンダースペース』展 会場構成
10月15日(月) ~11月10日(土) @武蔵野美術大学美術館 展示室2、アトリウム1・2

-崎田ゆかり出演-
砂と水玉 第3回公演 『透明な森』vol.2『しらない わすれた おしえない』
11月2日(金) @総合芸術茶房喫茶茶会記

-ゲッコーパレード-
みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2018 参加
ゲッコーパレード出張公演『リンドバークたちの飛行』
9月21日(金) -24日(月祝) @東北芸術工科大学

2018年10月 早稲田大学演劇博物館での上演決定!!
《詳細近日公開》

ほか多数!





プチ・パトロンチケット収益利用報告

プチ・パトロンチケットの収益を、以下の用途に利用させて頂きました。

- 2016年5月31日 音響機材（アナログミキサー）購入費として 11,664円
- 2016年8月24日 照明協力スタッフ人件費（一部）として 20,000円
- 2016年12月21日 オルガン運搬費として 21,698円
- 2017年9月28日 照明借用費として 56,492円
- 2018年2月26日 照明機材購入費として 84,432円

観劇の際に皆様からお支払いいただくチケット代金は、作品を創造・上演するための会場費・人件費・舞台費・文芸費・製作費として充てさせていただいております。皆様の観客としての参加が芸術活動を支えています。この場を借りて御礼申し上げます。

『マクベス』パレード参加者

Aokid ikuko shirakuma 内田圭 岡田萌 カゲヤマ气象台 カリー&カフェ楽 河原舞 岸本昌也
黒田瑞仁 上池健太 崎田ゆかり 鈴木麻友 瀬尾憲司 鶴見勇人 山本瑛子 YUMIKA MORI
渡辺瑞帆 観客のみなさま

Web: <http://geckoparade.com/>
E-mail: geckoparade@gmail.com
Twitter @geckoparade

〒335-0003 埼玉県蕨市南町2-8-2 旧加藤家住宅